

Rohm Music Friends[♩]

ローム ミュージック フレンズ

2015.3 | 創刊号 No.1

—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—



ピエール=オーギュスト・ルノワール「ピアノの前の少女たち」1892年
Young Girls at the Piano, 1892
© Bridgeman Images /amanaimages

Rohm Music Friends

創刊号 No.1
2015.3

目次

- p02 創刊にあたって
- p03 奨学生一覧
- p09 活躍する奨学生 インタビュー
- p13 2014年度 奨学生のご紹介
- p19 奨学生からのお便り
- p25 奨学生出演の
ローム ミュージック ファンデーション
主催コンサート
- p27 ローム ミュージック ファンデーションの事業
ローム株式会社 音楽文化支援
- p29 ロームシアター京都

創刊にあたって

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、音楽を通して豊かな文化を作ることを目的に1991年に創立しました。創立時より将来を担う若き音楽家たちに対する奨学援助や研鑽の機会の提供などを行い、これまでに奨学援助で関わらせていただいた音楽家は399人に上り、国内外、多方面で活躍されています。その方々の成長に関わることができたことに大きな喜びを感じております。

この度、ローム ミュージック ファンデーション奨学生の活躍の様子を中心とした情報誌「ローム ミュージック フレンズ」を発刊する運びとなりました。奨学生の現在の活動などをご紹介し奨学生同士の情報交換の場となること、また皆様に私どもの事業内容を知っていただく機会になればと願っております。

これからもローム ミュージック ファンデーションは音楽文化の普及と発展を目的に様々な事業に取り組んでまいります。

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 創立者・理事長
ローム株式会社 名誉会長

佐藤 研一郎



この度、「ローム ミュージック フレンズ」が発刊されるにあたり、ロームが支援するローム ミュージック ファンデーション奨学生の皆様の情報や、ロームが行う音楽を通じた文化支援(メセナ)を広くご紹介できることをうれしく思います。

われわれロームは、創業時より掲げる「企業目的」の中で「文化の進歩向上に貢献することを目的とする」と謳っており、さまざまな社会貢献活動を行っています。

2016年1月にはロームがネーミングライツの形で再整備のお手伝いをさせていただいた「ロームシアター京都」がオープンします。今後、ローム ミュージック ファンデーションが支援させていただいた音楽家の皆様にロームシアター京都で演奏していただくコンサートも開催が予定されています。これからもローム ミュージック ファンデーションの活動とあわせて音楽文化支援を継続的に実施し、この「ローム ミュージック フレンズ」を通して新しい情報をお伝えいたします。

ローム株式会社 代表取締役社長
公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション 理事

澤村 諭



奨学生一覧

(各分野五十音順)

ヴァイオリン	81人
ヴィオラ	9人
チェロ	28人
クラシックギター	3人
ヴィオラ・ダ・ガンバ	1人
フルート	17人
オーボエ	4人
クラリネット	10人
ファゴット	3人
トランペット	2人
トロンボーン	2人
ユーフォニウム	1人
打楽器	5人
ハープ	5人
パイプオルガン	1人
チェンバロ	2人
ピアノ	114人
オルガン	2人
声楽	52人
指揮	21人
作曲	18人
教会音楽	1人
音楽学	13人
オペラ演出	4人

計 399人

ヴァイオリン

青木 尚佳
 青谷 友香里
 アシュリー マリア アヤ
 東 珠子
 安彦 千恵
 伊賀 あや
 石橋 幸子
 泉原 隆志
 磯 絵里子
 糸井 真紀
 伊藤 文乃
 井上 奈央子
 植村 太郎
 植村 菜穂
 植村 理葉
 牛草 春
 エリック・シューマン
 尾池 亜美
 王 中男
 大江 馨
 大岡 仁
 大島 莉紗
 大谷 玲子
 岡崎 慶輔
 小野 明子
 檜本 大進
 加野 景子
 神尾 真由子
 神谷 未穂
 川村 奈菜
 木嶋 真優
 岸本 萌乃加
 木村 悦子
 清永 あや
 日下 紗矢子
 郷古 廉
 小林 美緒
 小林 美樹

佐橋 まどか
 佐藤 久成
 志満 直美
 島田 真千子
 島原 早恵
 清水 有紀
 白井 麻友
 菅井 京子
 鈴木 愛理
 周防 亮介
 滝 千春
 瀧村 依里
 田島 悠子
 立上 舞
 田中 晶子
 田中 晶子
 谷本 華子
 玉井 菜採
 長尾 春花
 中島 麻
 成田 達輝
 西川 茉莉奈
 西澤 和江
 林 悠介
 原 麻里亜
 原田 亮子
 藤江 扶紀
 前田 志乃
 正戸 里佳
 松川 暉
 松田 理奈
 三上 亮
 村田 美英
 毛利 文香
 守屋 剛志
 矢野 玲子
 山根 一仁
 梁 美沙

弓 新
 湯本 亜美
 吉田 南
 米元 響子
 渡邊 ゆづき

ヴィオラ

赤坂 智子
 金丸 葉子
 坂口 翼
 瀧本 麻衣子
 中島 悦子
 原 麻理子
 牧野 葵美
 山崎 智子
 渡邊 千春

チェロ

伊藤 悠貴
 上野 通明
 植村 葉夏
 江口 心一
 遠藤 真理
 岡本 侑也
 奥田 なな子
 加藤 文枝
 門脇 大樹
 唐沢 安岐奈
 熊澤 雅樹
 佐々木 繭望
 高木 慶太
 辻本 玲
 中木 健二
 長谷川 彰子
 林 裕
 平野 朝水
 藤井 泉
 堀江 牧生
 松山 翔子
 マーク・シューマン
 峰本 更
 宮田 大
 山上 ジョアン 薫
 山本 徹
 横坂 源
 渡邊 方子

奨学生一覧



クラシック ギター

谷辺 昌央
藤元 高輝
松本 大樹

ヴィオラ・ ダ・ガンバ

酒井 淳

フルート

阿部 礼奈
井坂 実樹
岩瀬 桐子
上野 星矢
大久保 彩子
久保 順
倉田 優
小山 裕幾
庄田 奏美
中村 薫
萩原 貴子
藤井 香織
本宮 湖心
増本 竜士
森岡 有裕子
若林 かをり
渡邊 玲奈

オーボエ

荒 絵理子
岡山 理絵
田代 奏子
本多 啓佑

クラリネット

梅原 希枝
金子 平
小林 知世
小山 洋子
白子 正樹
辻本 聡子
中川 知美

ファゴット

小山 莉絵
中野 陽一朗
藤村 踊子

トランペット

菊本 和昭
佐藤 友紀

トロンボーン

清水 真弓
山本 浩一郎

ユーフォニウム

安東 京平

打楽器

池上 英樹
岩見 玲奈
沓野 勢津子
通崎 睦美
福山 直子

ハープ

景山 梨乃
シュレイファー 弓子
高野 麗音
林 千佳世
福井 麻衣

パイプオルガン

椎名 雄一郎

チェンバロ

北御門 はる
脇田 英里子

ピアノ

浅野 未麗
有吉 亮治
石川 武蔵
石田 啓明
石村 純
乾 絵美
今井 彩子
今田 篤
入江 一雄
岩本 恵理
江澤 茂敏
江尻 南美
岡田 奏
大井 浩明
大崎 結真
大西 真由子
岡本 麻子
奥田 暁仁
奥村 友美
小沢 麻由子
越知 晴子
海瀬 京子
梯 剛之
柏原 佳奈
加藤 洋之
加野 瑞夏
神野 千恵
河内 仁志
川崎 翔子
川島 基
川田 健太郎
河村 尚子
菊地 裕介
菊池 洋子
喜多 宏丞
清塚 信也
日下 知奈
工藤 奈帆美

久保 千尋
倉澤 杏菜
高 実希子
壽 千明
小林 愛実
小林 有沙
小林 海都
齊藤 一也
坂本 真由美
崎谷 明弘
佐々木 宏子
佐竹 裕介
佐藤 卓史
佐藤 彦大
佐藤 麻理
佐野 まり子
紫垣 英二
志鷹 美紗
釈迦郡 洋介
白川 多紀
菅野 将紀
鈴木 謙一郎
住友 郁治
関本 昌平
芹澤 佳司
反田 恭平
高田 匡隆
高橋 礼恵
田中 香織
田中 正也
田村 響
津嶋 啓一
津田 裕也
鶴見 彩
土居 知子
中尾 純
中桐 望
中島 彩

奨学生一覧



ピアノ

長瀬 賢弘
 中元 千鶴
 奈良 希愛
 新美 光映
 沼澤 淑音
 萩原 麻未
 橋本 尚
 服部 慶子
 花岡 克典
 浜野 与志男
 林田 麻紀
 平松 悠歩
 福田 和子
 真隅 政大
 松尾 久美
 松岡 淳
 松本 和将
 丸山 耕路
 萬谷 衣里
 Elezovic MIA
 三浦 友理枝
 三戸 あけみ
 三宅 麻美
 宮下 彩子
 宮田 理生
 村田 理夏子
 村松 珠美
 森田 義史
 矢島 愛子
 山田 剛史
 山本 亜希子
 吉兼 加奈子
 ティーテン 吉川 右希子
 吉田 友昭
 吉武 優
 米津 真浩
 李 早恵
 脇岡 洋平

オルガン

声楽

福本 茉莉
 宗 かおり

石井 教子
 市原 愛
 乾 麻里子
 上杉 清仁
 江口 輝博
 大島 京子
 岡田 昌子
 加藤 史幸
 加藤 麻衣
 川島 幸子
 川原 成子
 木下 周子
 木下 美穂子
 木村 善明
 木村 里花子
 蔵田 みどり
 小玉 晃
 小林 沙羅
 近藤 圭
 崔 宗宝
 坂本 知亜紀
 志摩 大喜
 清水 俊徳
 周 江平
 杉原 かおり
 鈴木 愛美
 田邊 織恵
 谷口 伸
 谷村 由美子
 田村 麻子
 趙 非
 津國 直樹
 辻 裕久
 寺田 功治
 田 大成
 富岡 明子

指揮

中川 恵美里
 中島 康晴
 鳴海 真希子
 藤木 大地
 藤谷 佳奈枝
 本田 智衣
 松原 友
 真野 路津紀
 溝淵 悠理
 峯島 望美
 森野 美咲
 山下 新吾
 山本 美央
 吉田 貴子
 藍 野流
 李 恩敬

粟辻 聡
 石川 星太郎
 伊藤 翔
 垣内 悠希
 川本 真司
 岸本 有理
 鬼原 良尚
 齊藤 一郎
 阪部 慎太郎
 篠崎 靖男
 下野 竜也
 杉本 優
 橘 直貴
 寺岡 清高
 阪 哲朗
 三ツ橋 敬子
 村上 寿昭
 村中 大祐
 森 香織
 森口 真司
 森田 宏樹

作曲

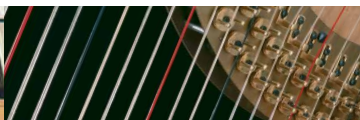
教会音楽

音楽学

オペラ演出

阿部 俊祐
 稲森 安太己
 今井 智景
 木下 正道
 小出 稚子
 酒井 健治
 坂田 直樹
 塚本 瑛子
 中川 佐織
 夏田 昌和
 朴 炳五
 松宮 圭太
 松本 直祐樹
 ママツウメル
 山口 紘
 李 大軍
 渡邊 愛
 渡辺 裕紀子

小山田 薫
 金 士友
 貞方 マキ子
 周 耘
 白石 悠里子
 関本 菜穂子
 園田 みどり
 高野 裕子
 戸祭 哲子
 西村 理
 畑野 小百合
 早坂 牧子
 丸山 瑤子
 李 金叶
 井原 広樹
 郭 才銀
 馬 金泉
 森岡 純子





活躍する 奨学生 インタビュー

VOL.1

Daishin Kashimoto

榎本 大進 [ヴァイオリン]

1992、1993年度奨学生
給付時の在籍学校:リューベック音楽院

取材・文=真嶋 雄大(音楽評論家)



©Daisuke Akita

Profile

1979年ロンドン生まれ。1996年のフリッツ・クライスラー、ロン＝ティボーの両国際音楽コンクールでの1位など、5つの権威ある国際コンクールにて優勝。これまでマゼール、小澤征爾、ヤンソンスなどの著名指揮者のもと、数々のオーケストラと共演を重ねるほか、クレーメル、バシュメット、堤剛など数々のソリストと室内楽でも共演。2007年より、室内楽の「ル・ボン国際音楽祭～赤穂・姫路」を音楽監督として毎年開催している。2010年ベルリン・フィル第1コンサートマスターに就任。同オーケストラとはソリストとしても共演している。近年では、ピアノのリフシツとベートーヴェン:ヴァイオリン・ソナタ全曲演奏・収録を行い、2014年ワーナー・クラシックスよりワールドリリースされた。使用楽器は1674年製アンドレア・グワルネリ。

世界的ソリスト、室内楽奏者、またベルリン・フィルの第1コンサート・マスターとして大活躍の榎本大進さん。2015年早々サントリーホールをはじめとする全国リサイタル・ツアー(11カ所)において、圧倒的な演奏で満場の聴衆を魅了した。

—以前、榎本さんがベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏に取り組んだ時のピアニストはコンスタンチン・リフシツでしたが、今回はエリック・ル・サージュでした。

エリックとは昔からよく共演していますし、信頼関係もあります。今回はフランスものを演奏したいという気持ちがあって、特にプーランクのソナタをエリックと一緒に弾きたいなと長い間思っていましたから…。フランクやフォーレ、ラヴェルなどフランスものを、リサイタルのなかで1曲採りあげることはこれまでもありましたが、オール・フレンチ・プログラムは初めてで、冒険でした。



榎本大進(ヴァイオリン) & エリック・ル・サージュ(ピアノ)
2015年1月15日 サントリーホール
写真提供:サントリーホール/
ジャパン・アーツ



ベルリン・フィルの演奏会にて
©Axel Nikolaus

— ソロや室内楽の他にベルリン・フィルのコンサート・マスターとしての活動があり、移動もたくさんあると思うのですが、時差などにはどう対応していますか?

特に何もしません(笑)。演奏している時は集中していますし、音楽祭などでは一日中弾いていることもありますから全然気にはならないんですが、終わった瞬間にガクとくるとはありますね。ベルリン・フィルでは、演奏会の数はそう多くはないのですが内容がひじょうに濃いので気をつかいますね。もちろん室内楽もやっています。共演はオケの同僚とか、マルタ・アルゲリッチ、リフシツなど、今度はフルートのエマニュエル・パユともやりますね。イスラエルでエルサレム音楽祭というのがありますが、そのベルリン・ヴァージョンがあって、仕事の合間にそこで演奏したりしています。



©堀田 力丸



©堀田 力丸

—最後に、何か榎本さんから若い音楽家へのアドバイスはありますか？

先ほども申し上げましたが、もちろん無理なこともあるとは思いますが、ちょっとでもヨーロッパの空気に触れることが大事だと思います。住まなくてもいいし、旅行だけでもいいですから…。ドイツ、オーストリア、フランス、イタリア、ロシアなど、1回は行ってほしいですね。

□ 今後の演奏会予定(日本国内のみ)

- NHK交響楽団公演
 - 2015年7月17日(金) 19:00 NHKホール
 - 7月18日(土) 16:00 ザ・シンフォニーホール
 - 7月19日(日) 18:00 ひめぎんホールメインホール
 - 7月21日(火) 19:00 鳥取県立倉吉未来中心大ホール
 曲目:ブラームス:ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲
 共演:マイケル・フランス(指揮)、クラウディオ・ボルケス(チェロ)
- 第36回霧島国際音楽祭2015
榎本大進出演公演
 - 2015年7月25日(土)14:30 みやまコンセル
 - 7月26日(日)13:00 みやまコンセル
 - 7月29日(水)19:00 宝山ホール
- ル・ボン国際音楽祭2015 赤穂・姫路(音楽監督:榎本大進)
2015年10月下旬(全6公演)
- 榎本大進&コンスタンチン・リフシツ
デュオリサイタルツアー
2016年2月

—リューベックにはどのくらいいらっしゃったんですか？

1990年から9年間です。ですから奨学金はひとつの生活基盤になりましたし、音楽をやっている以上、本場を超える本物はありませぬから、それを味わえるということはあるがたかったですね。もちろん日本のみでもきちんと教育は受けられますけれど、ヨーロッパの空気、雰囲気を知ることはマイナスには絶対になりません。作曲家はそのなかで書いていますから。その後フライブルクに行って、ライナー・クスマウル先生に師事しました。やはりドイツ人の先生から得られることも多いだろうと思ったので。

そのドイツでは、歴史的に国や大銀行がクラシック音楽を支援しています。そうしないとクラシックは死んでしまう。それはとてもありがたいと思っています。



モスクワ音楽院大ホールにて



奨学生時代の榎本大進さん

—その時に、ローム ミュージック ファンデーションの奨学援助を受けられたのですね？

奨学金をいただいたのは、1990年にドイツに渡ったあとの1992年と93年です。ドイツの学校は、すごく自由に育てるんです。間違いもそれが勉強の一つで、あえてさせてわからせる。一方でアメリカや日本は、間違いをしないように教育するんです。勉強している間は、ミスや失敗はすごく重要ですから、ドイツ、ヨーロッパでの勉強は本当に有益でした。ただブロン先生は、本当に厳しかったですね(笑)。完璧を求められますし、期待もされていたんですが、ブロン先生のレッスンは毎日、学校とレッスンと練習だけで一日が終わっていました。



ドイツ首相列席のユーディ・メニューイン パースデー コンサートにて



コモ(イタリア)におけるリサイタルにて

—日本でも毎年、赤穂・姫路で「ル・ボン国際音楽祭」を行われていますね？

そろそろ定着してきたという感じですね。出演者もお客様も慣れ始め、楽しくやっています。室内楽のみですが、今まであまり聴く機会もなかったからか最近大盛り上がり。私たちにとてもチャンスですし、これからも大事にしていきたいと思っています。

—榎本さんはロンドンに生まれ、5歳でニューヨークに移住、7歳でジュリアード音楽院プレカレッジで学んだということですが、その後に師事するザハール・ブロン先生とはどんなきっかけでお会いしたのですか？

アメリカに住んでいた9歳か10歳のとき、僕の母親が「音楽をやっているなら、ヨーロッパに連れていかなきゃ」と、夏休みにヨーロッパでマスタークラスなどをずっと受けていたんです。そのときに教えていただいたひとりがブロン先生だったんです。それで「リューベック(ドイツ)に來い」と。



写真提供:ル・ボン赤穂・姫路国際音楽祭事務局



2014年度 奨学生のご紹介

2014年度新たに奨学生として
加わった方々を紹介します。

氏名【専攻】
給付時の在籍学校
奨学生年度
今後の抱負

認定証授与
(左)財団理事・ローム株式会社代表取締役社長 澤村諭

認定式集合写真(2014年8月8日)

認定式集合写真(2014年8月29日)

いさか みき
井坂 実樹【フルート】
ジュネーブ高等音楽院大学院、
パリ地方音楽院
2014年度奨学生

オーケストラ奏者になる夢を
叶えるため、パリの第一線で
活躍していらっしゃる先生方
のもと、より実践的なテクニク
を学び、さらに実経験を積
むべくオーディションやコン
クールなどにも積極的に参加
していきたいと思っています。



いまだ あつし
今田 篤【ピアノ】
英国王立音楽大学大学院
2011、2014年度奨学生

作曲家の意図を自分という
フィルターを通して表現でき
る演奏家になるべく、音楽に
とどまらずさまざまな芸術作
品に触れていきたいです。



うえの みちあき
上野 通明【チェロ】
桐朋学園大学
2014年度奨学生

自分が演奏活動できることに
心から感謝し、世界の文学、
美術、演劇など、あらゆる物
から沢山の刺激を受け、一流
の演奏家を目指してもっと精
進していきたいです。



えざわ しげとし
江澤 茂敏【ピアノ】
桐朋学園大学
2014年度奨学生

マスタークラス、国際コン
クールへの参加などを通し
て自分の音楽的能力の向上
を図り、理想の音楽に近づ
けるよう頑張りたいです。



おおえ かおる
大江 馨【ヴァイオリン】
桐朋学園大学
2014年度奨学生

今後はヨーロッパでも研鑽を
積むなどして自分の音楽を深
めていくとともに、国際コン
クールにも挑戦したいです。



おかだ しょうこ
岡田 昌子【ソプラノ】
ジェネバ国立音楽院
2014年度奨学生

奨学生としてイタリアへ住み
ながら、歴史文化を通して私
の歌に今まで足りなかったも
のを補い、表現していきたい
です。オペラのレパートリーも
この1年で増やしていき、世界
の劇場で歌手としてデビュー
できるよう勉強したいです。



おかもと ゆうや
岡本 侑也【チェロ】
ミュンヘン音楽大学
2013、2014年度奨学生

ヨーロッパの文化を沢山吸
収して、スケールの大きい、
自由に伸びやかな演奏を目
指していきたいです。



かげやま りの
景山 梨乃【ハープ】
ベルリン芸術大学
2013、2014年度奨学生

昨年度はオーケストラが
中心でしたが、今年度は
室内楽にも積極的に取り
組みたいです。



かとう まい
加藤 麻衣【ソプラノ】
ハンブルク音楽院
2013、2014年度奨学生

ドイツでより多くのことを
吸収して音楽的表現を深
め、今後の演奏に活かして
いきたいです。



きた こうすけ
喜多 宏丞 [ピアノ]
東京藝術大学大学院
2012、2014年度奨学生

目前に迫った博士学位審査にまず全力を尽くしたいです。その後はドイツとフランスに留学予定で、ピアノという楽器を通して音楽の多様な魅力を伝えられるよう、幅広く研鑽を積んでいきたいと思っています。



こばやし さら
小林 沙羅 [ソプラノ]
プライナー音楽院
2014年度奨学生

信頼する師匠のもと、発声、発音、楽曲の解釈、音楽表現の勉強を深め、演奏家としてさらなる成長、発展を目指します。



さとう まり
佐藤 麻理 [ピアノ]
ウィーン国立音楽大学大学院
2013、2014年度奨学生

ウィーンを拠点とした勉強環境を生かしてさまざまな経験をし、自分自身と音楽技術の更なる向上を目指して研鑽を積みたいと思います。



たむら ひびき
田村 響 [ピアノ]
大阪音楽大学大学院
2008、2014年度奨学生

室内楽曲なども含めたレパートリーの拡大と、活動の幅を広げていきたいと思っています。



きむら よしあき
木村 善明 [バスバリトン]
ドイツ国立トロッシゲン音楽大学大学院
2014年度奨学生

今まで身につけてきた発声や音楽性を総合的に結びつけドイツ語の持つ語感、色、発音を学びドイツで歌手として通用する実力をつけます。



さいとう かずや
齊藤 一也 [ピアノ]
パリ国立高等音楽院、パリ国立高等音楽院大学院
2013、2014年度奨学生

パリを国際的活動の拠点として演奏活動、国際コンクール参加などに精力的に取り組むと同時に、一人の音楽家として社会的立場での存在意義をアピールしていきたいと思っています。



すほう りょうすけ
周防 亮介 [ヴァイオリン]
東京音楽大学
2014年度奨学生

国際コンクールや国内外のセミナーにも積極的に参加しさらに勉強を深め、将来につながる経験や努力を重ねていこうと思っています。



なかぎりのぞみ
中桐 望 [ピアノ]
ビドゴシチ音楽大学
2014年度奨学生

ヨーロッパでしか経験のできないことに積極的に取り組みもっと大きな国際コンクールへの挑戦に向けて、しっかり勉強したいと思っています。



こばやし かいと
小林 海都 [ピアノ]
エリザベート王妃音楽学校
2014年度奨学生

2014年9月からベルギーのエリザベート王妃音楽大学に入学し、マリア・ジョアン・ピリス先生のもとで学ばせていただくことになりました。より深く音楽を理解するために必要な感性、頭脳、気力、体力を養い、さまざまな舞台経験を積むことで演奏家として活動の輪を広げていきたいと思っています。



さきや あきひろ
崎谷 明弘 [ピアノ]
東京藝術大学大学院
2014年度奨学生

一流の音楽家への登竜門でもあるローム ミュージック ファンデーション奨学生の名に恥じぬよう、今まで以上に積極的な研究や挑戦を行いたいです。



そりた きょうへい
反田 恭平 [ピアノ]
チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院
2014年度奨学生

ロシアという壮大な国でしか得られない芸術を吸収していきたいです。そして専攻楽器だけではなく、知識の豊富な音楽家になりたいです。



はたの さゆり
畑野 小百合 [音楽学]
ベルリン芸術大学大学院
2014年度奨学生

20世紀初頭にベルリンの音楽界で多大な影響力をもった「ヘルマン・ヴォルフ音楽事務所」の研究をしています。ますます音楽が聴きたくなる、そんな研究を発信していきたいです。



はら まりあ
原 麻里亜 [ヴァイオリン]
パリ国立高等音楽院大学院
2014年度奨学生



2014年、修士論文「ジョルジュ・エネスクがフランスの作曲家から受けた影響」を仏語で執筆しました。今後エネスクの未発表作品を発掘、初演しCDを作成、楽譜を校訂し、楽譜を出版予定です。博士論文、文献も執筆したいです。

まるやま ようこ
丸山 瑤子 [音楽学]
ウィーン大学大学院
2014年度奨学生



奨学生として恥じぬよう、現地の資料調査に精を出し、学会発表や論文の形で研究成果を着実にまとめていけるよう努力したいと思っています。

よねづ ただひろ
米津 真浩 [ピアノ]
イモラ音楽院
2013、2014年度奨学生



常に広い視野と探求心を持ち、奨学生としてこの環境で学べることに感謝し、今しかできないことにたくさんチャレンジしたいです。

ふくもと まり
福本 茉莉 [パイプオルガン 教会音楽]
ハンブルク音楽演劇大学
2014年度奨学生



感謝と喜びをもって貪欲に研鑽を続けると同時に、コンサート・オルガニストとして、世界を舞台により活発な活動を展開していきたいです。また、オルガンの魅力を日本でも伝えられるよう、露出の機会を探していきたいです。

もうり ふみか
毛利 文香 [ヴァイオリン]
洗足学園音楽大学
2011、2014年度奨学生



国際コンクールに積極的に参加するとともに、室内楽やオーケストラの勉強にも励み、また、今年度中に留学先を決定したいです。

ふじえ ふき
藤江 扶紀 [ヴァイオリン]
パリ国立高等音楽院大学院
2013、2014年度奨学生



国際コンクールに果敢に挑戦することによって視野を広げ、現時点での自身の世界観を拡幅するべく、毎日精進していきたいと思ひます。

よしだ みなみ
吉田 南 [ヴァイオリン]
桐朋女子高等学校音楽科
2014年度奨学生



音楽ができることに感謝して一所懸命勉強し、演奏会や講習会に参加したり、国際コンクールへの挑戦もしたいと思ひます。

ROOM ミュージック ファンデーションより 奨学生の皆様へお願い

ROOM ミュージック ファンデーションでは、現在およびこれまでの奨学生の皆様の活躍をできる限り多くの方にご紹介したいと考えています。ぜひ、折にふれてご活躍の様子をお知らせください。

写真付きで近況(150字程度)、タイトル(20字程度)、写真の説明文(50字程度)をご報告いただければ、本誌「ROOM ミュージック フレンズ」でもご紹介いたします。

ホームページでもさまざまな情報を公開しています。
掲載内容の変更や追記を希望される方は、
事務局までご連絡ください。

若い音楽家たちの活躍(奨学生一覧)
[URL] http://micro.rohm.com/jp/rmf/young_musician/
プロフィール、活動状況、奨学生時代の思い出、
今年度の奨学生は今後の抱負も掲載しています。



「ROOM ミュージック ファンデーション ブログ」
[URL] <http://micro.rohm.com/jp/rmf/blog/>

現役奨学生の日頃のレッスン、コンサート、あるいはプライベートのトピックスなどのレポート、過去の奨学生の情報、ROOM ミュージック ファンデーションが主催するコンサートの様子などを掲載しています。

[連絡先] 公益財団法人 ROOM ミュージック ファンデーション
〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1 TEL : (075) 311-7710 Mail : rmf@rohm.co.jp

奨学生からの お便り

The letter from scholarship students

これまでの奨学生から届いたご活躍の様子を一部ご紹介します。(順不同)

氏名〔専攻〕 奨学生年度
給付時の在籍学校

群馬交響楽団とブラームス 2015.1.17

成田 達輝 [ヴァイオリン] 2010～2012年度奨学生
パリ国立高等音楽院

群響とは、2010年にシベリウスの協奏曲を中学
高校時代を過ごした前橋市で初共演しました。
2度目は2012年にモーツァルト／ヴァイオリン
協奏曲第5番。今回は大曲ブラームスを昨年貸
与いただいた銘器“ガルネリ・デル・ジェス
"ex-William Kroll"1738年製”で多くの方々に
披露できたことを心からうれしく思います。



湯浅卓雄指揮、群馬交響楽団と
ブラームスの協奏曲を演奏

「佐藤卓史シューベルトツィクルス」始動

佐藤 卓史 [ピアノ] 2008～2011年度奨学生
ハノーファー音楽演劇大学

シューベルトのピアノ曲(独奏曲・連弾曲・室内
楽曲)の全曲演奏に挑戦する「佐藤卓史シュー
ベルトツィクルス」の第1回公演「幻想曲」を、
2014年4月2日東京文化会館小ホールにて開催、
約400人のお客様にご来場いただきました。この
シリーズは今後も1年に2回のペースで開催し、
2029年ごろ完結する予定です。



2014年4月2日 東京文化会館小ホールにて
「佐藤卓史シューベルトツィクルス第1回」

日本モーツァルト愛好会例会

志鷹 美紗 [ピアノ] 2007～2010年度奨学生
ベルリン芸術大学

2014年11月、東京練馬区の光が丘美術館にて
「日本モーツァルト愛好会例会～ピアノで紡ぐ、
モーツァルト心の響き」に出演しました。美しい絵画
のなか、オーストリア建国1000年記念で作製
された世界に12台しかないベーゼンドルファー
で、オールモーツァルトプログラムを演奏させて
いただきました。



モーツァルトのロンド、ハ短調の幻想曲とソナタ、
リスト編曲のドン・ジョヴァンニの回想を演奏

デビューアルバムとニューヨーク・フィルハーモニック

小林 有沙 [ピアノ] 2007～2010年度奨学生
ベルリン芸術大学

2013年12月にデビューアルバムが発売され、
本格的に日本で活動を開始しました。2014年
2月にはニューヨークフィルの首席奏者らと3回目
となる室内楽の共演をさせていただきました。
ソロだけでなく、弦楽器や管楽器とのアンサンブル
の機会も増え、演奏家としての幅を広げています。



上/©武藤 章
デビューアルバムのジャケット
下/ニューヨークフィル首席奏者らとの演奏会

演奏機会に恵まれた2014年

吉田 友昭 [ピアノ] 2011～2013年度奨学生
ザルツブルク・モーツァルト音楽大学

2014年は演奏機会に恵まれた1年でした。欧州
ではバルセロナ・カタルーニャ音楽堂、ミュンヘン・
ガスタイク文化センター、アムステルダム・コン
セルトヘボウ等の主要ホールにてリサイタルや
オーケストラとの協奏曲を行い、日本では横浜
みなとみらいホールでの横浜市民招待国際ピアノ
演奏会に出演しました。



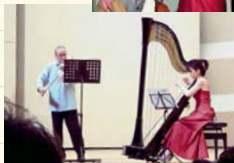
バルセロナ・カタルーニャ音楽堂にて協奏曲を演奏



感謝の日々

福井 麻衣 [ハープ] 2008、2009年度奨学生
パリ国立高等音楽院大学院

リサイタル、室内楽、新曲初演、ラジオ出演からフランスにて非常勤講師まで皆様のお蔭で多い日々を過ごさせていただいています。またCDが「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれたり大阪市から「咲くよこの花賞」を頂いたりとも光栄で感謝しています。特にプーレ先生、梁盛苑先生との共演は忘れられない思い出となりました。



上/終演後、プーレ先生(ヴァイオリン)、梁盛苑先生(チェロ)と
下/2014年6月奈良ムジークフェスタにてプーレ先生と共演

現場復帰

荒 絵理子 [オーボエ] 2013年度奨学生
ハンブルク音楽院

1年間の留学を終え、日本で職場復帰しています。留学の1年間は夢だったのかと思うほど、毎日働き詰めです。でもモーツァルト、ベートーヴェン、マーラー、ブルックナーを演奏しながら、ドイツで勉強したことが生きていると実感できる幸せな日々を送っています。世界で大活躍のジョナサン・ノット監督、東京交響楽団のメンバーと再び音楽ができ、沢山のことを学んでいます。また、五嶋みどりさんが理事長を務めるミュージックシェアリングで養護学校を訪問し、純粋な子供達から勇気をもらいました。



上/2014年12月13日 サントリーホールにて東京交響楽団演奏会でブルックナーを演奏
下/養護学校での演奏

プロコフィエフ第3番と木管室内楽曲

岡本 麻子 [ピアノ] 2003、2004年度奨学生
ケルン音楽大学

2014年度は、大学での指導に加え、ソロリサイタル、室内楽、オーケストラとの共演などさまざまな活動を行いました。なかでも、京都の長岡京市夏の音楽祭にて演奏したプロコフィエフピアノ協奏曲第3番は大変充実した演奏会であり、その他ドイツのオーケストラ団員との木管室内楽曲共演は非常に素晴らしい時間でした。



上/2014年4月ドイツにてシュトゥットガルト放送交響楽団メンバーと共演
下/2014年8月長岡京記念文化会館にてアンサンブル神戸、阪哲朗さん(RMF奨学生)と共演



ロンドンでの飛躍、国内の演奏活動も本格化!

伊藤 悠貴 [チェロ] 2010~2012年度奨学生
英国王立音楽大学

ロンドンのロイヤルフェスティバル大ホール、ロイヤルアルバートホールでのソロリサイタルデビューをはじめ、今年は国内での活動も飛躍的に充実した年となりました。NHK-FMへの出演や、東京文化会館、大阪ザ・フェニックスホール、名古屋宗次ホール、青森文化会館でのソロリサイタルほか、巨匠一柳慧さんの新曲初演、また献呈作品である「エッシーの踊り」舞台版の初演も実現しました。4月にはフランス・パリにて初のコンクール審査員も務めました。



上/ロンドンロイヤルフェスティバル大ホールにてソロリサイタル前ゲネプロ
下/ロンドンにて

ソロと室内楽

松尾 久美 [ピアノ] 2008~2011年度奨学生
英国王立音楽大学大学院

2014年6月にカーネギーホールにてジョイントリサイタルに出演、またワルシャワにてリサイタルを開催、11月にはルーマニアにてコンスタンツァ交響楽団と共演しました。また室内楽活動では多くの共演者に恵まれ、充実した演奏活動を行っています。



ワルシャワでのリサイタル



豊嶋泰嗣氏と室内楽共演

原田 亮子 [ヴァイオリン] 2008~2010年度奨学生
英国王立音楽院大学院、ギルドホール演劇音楽学校大学院

英国留学から帰国後、佐渡裕さん率いる兵庫芸術文化センター管弦楽団でフォアシュペーラーとして在籍しました。現在、ソロおよび室内楽を中心に活動しています。2014年11月、兵庫県立芸術文化センター主催による「原田亮子ワンコイン・コンサート」へ豊嶋泰嗣さんをお迎えし、ヘンデル=ハルヴェオルセン: パッサカリアなどを共演しました。



ワンコイン・コンサートの終演後、共演者と





ロンティボー国際コンクールにて

青木 尚佳 [ヴァイオリン] 2011、2012年度奨学生
英国王立音楽大学



©Herve Boutet

1次予選からファイナルまで、5日間という過密スケジュールでしたが、全てのラウンドで自分の力を出せたこと、そして歴史あるサル・ガヴォーやシャンゼリゼ劇場で弾けたことは本当に忘れられない日々となりました。(第2位及びモノコ公アルベール2世賞を受賞)



©Herve Boutet

コンクールで、シャンゼリゼ劇場にてシベリウスの協奏曲を演奏



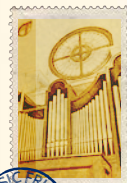
2014年の演奏会から思うこと

白川 多紀 [ピアノ] 2006～2009年度奨学生
ジュネーヴ高等音楽院



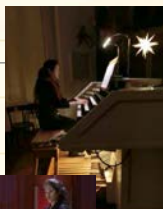
2014年5月南麻布セントレホールにてソロリサイタル

2014年はラ・フォル・ジュルネ音楽祭や丸の内夏の音楽祭で幅広い世代の方に聞いていただき、ソロリサイタルやデュオリサイタルでは新しい境地にトライし、充実した演奏会となりました。これからも常に学ぶ姿勢を忘れず、また聴きたいと思えるような音楽を目指して精進していきたいと思っています。



充実した教会音楽生活

小山田 薫 [教会音楽] 2012年度奨学生
ハンブルク音楽院



上/ハンブルク聖ミハエリス教会にて
下/ライブツイヒ楽器博物館での合唱演奏会

ハンブルク聖ミハエリス教会音楽監督であるオルガンの師匠のもと、元旦礼拝でバッハのクリスマス・オラトリオ第4部を歌い、翌日は4台のオルガンを使っのレッスン、正午礼拝には一曲演奏させていただきました。また一人一曲持ち回りで指揮する教会音楽科合唱演奏会もあるなど、2015年は元旦から充実した教会音楽生活を過ごしています。



2014年のこと

渡辺 愛 [作曲] 2012年度奨学生
東京藝術大学大学院



©奥山 和洋

博士論文に追われた1年でしたが、そんな中でも調査のための渡仏、委嘱を含む初演の機会、そして富士電子音響芸術祭 (FAF) という素晴らしい催しへの参加と、かけがえのない一年でした。FAFは70体というおびただしい数のスピーカーで電子音楽を演奏しますが、音だけでなく、光や香りの演出も兼ねた印象的な一夜でした。



©福島 諭

アコースモニウムという電子音響の装置で演奏



より豊かな音楽を

瀧村 依里 [ヴァイオリン] 2011、2012年度奨学生
ウィーン国立音楽大学大学院



©雨田 芳明

2014年はソロや室内楽活動、小学校などに訪問し演奏するアウトリーチ活動も充実させる一方で、12カ月の試用期間に励み、2015年1月1日付で読売日本交響楽団の第2ヴァイオリン首席奏者に就任しました。これからもより豊かな音楽を奏でられるよう、精進していきたいと思っています。

リューとびあコンサートホールにて、1000人以上のお客様にご来場いただいたワンコインコンサート



2014年を振り返って

李 早恵 [ピアノ] 2009～2011年度奨学生
エコールノルマル音楽院、パリ国立高等音楽院



2014年3月パリのSaint-Philippe-du-Roule教会にてリサイタル

2014年は3月のパリのSaint-Philippe-du-Roule教会、7月の大阪大学会館での、ドビュッシーの「牧神の午後への前奏曲」とラヴェルの「夜のガスパール」を中心に「光と闇に浮かぶ水の精と牧神」と題打ったリサイタルを軸に、ヨーロッパ各地、日本でいろいろ演奏の機会をいただきました。また、11月よりスロヴェニア国立音楽大学にて伴奏専任講師として生徒の指導にあたることとなりました。

奨学生出演のローム ミュージック ファンデーション主催コンサート

スカラシップ コンサート

～RMF奨学生によるコンサート～

Vol.3～5

次世代を担う若き音楽家たちが奨学生期間の成果を披露!

2014.8/7(木)、8(金)、29(金) 京都文化博物館 別館ホール

出演者 Vol.3 景山梨乃(ハープ)、岸本朝乃加(ヴァイオリン)、
工藤奈帆美(ピアノ)、長尾春花(ヴァイオリン)、
本多啓佑(オーボエ)、湯本亜美(ヴァイオリン)、
米津真浩(ピアノ)

Vol.4 岡本侑也(チェロ)、近藤圭(バリトン)、
成田遼輝(ヴァイオリン)、萩原麻未(ピアノ)、
浜野与志男(ピアノ)、藤谷佳奈枝(ソプラノ)

Vol.5 阿部礼奈(フルート)、加藤文枝(チェロ)、
齊藤一也(ピアノ)、藤江扶紀(ヴァイオリン)、
山根一仁(ヴァイオリン)、吉田友昭(ピアノ)

奨学生以外の出演者 伴奏ピアノ:河合珠江



©佐々木 卓男

1 景山梨乃 2 (左)藤谷佳奈枝(右)近藤圭 3 阿部礼奈 4 山根一仁 5 Vol.3 出演者集合写真
6 Vol.4 出演者集合写真 7 Vol.5 出演者集合写真 8 コンサート会場内 9 コンサート会場外観

2013年のVol.1,2に引き続き、2014年はVol.3～5と3日間に分けて2012、2013年度の奨学生19人が、留学先の国にちなんだ曲など、自身の選曲で演奏を披露しました。演奏はソロを中心に、デュオやトリオ演奏もあり奨学生同士の交流を深めていただく機会になりました。国内外の音楽学校で学んできた次世代の音楽文化を担う若い音楽家のフレッシュな演奏をご来場いただいた約600人のお客様にお楽しみいただきました。

お客様から「若い音楽家の高い音楽性に感動した、数年後にまた今回の出演者のその後の演奏を聴きたい。」また、出演した奨学生からは「通常のコンサートホールではない国の重要文化財でもある会場の雰囲気の中、演奏の機会をいただき、他の奨学生の演奏を聴くことができるともうれしかった」などの感想をいただきます。



©佐々木 卓男

コンサート終了後には、懇親会を実施し奨学生同士の交流を図りました。

フレンズ コンサート

～RMFの仲間たちによるコンサート～

Vol.1

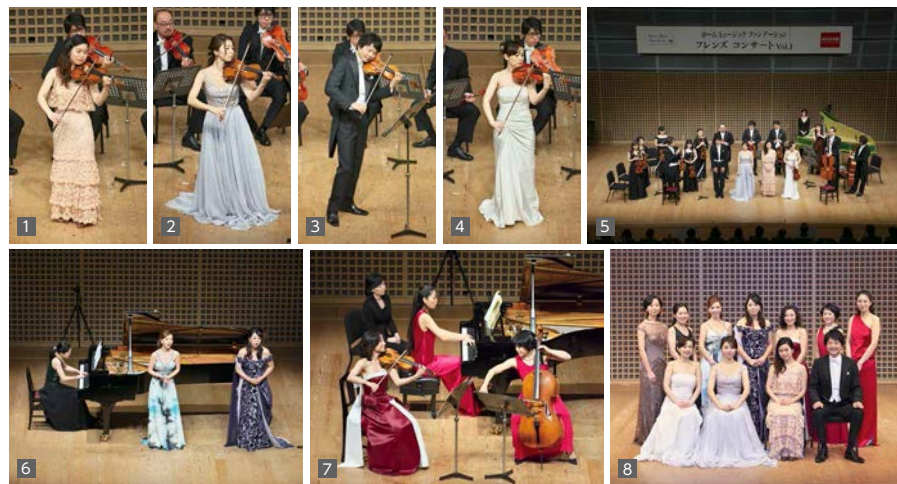
国内外で活躍するローム ミュージック フレンズの豪華共演!

2014.11/28(金) 京都コンサートホール 小ホール

第1部 「若きヴァイオリン・ヴィルトゥオーソの饗宴」
泉原隆志(ヴァイオリン)、磯絵里子(ヴァイオリン)、
滝千春(ヴァイオリン)、松田理奈(ヴァイオリン)

第2部 弦楽合奏:京都市交響楽団 スペシャル ストリングス
「美しい歌姫(ディーバ)の競艶」
市原愛(ソプラノ)、越知晴子(ピアノ)、
木下美穂子(ソプラノ)、平塚洋子(ピアノ)

第3部 「優美なるピアノ・トリオの世界」
遠藤真理(チェロ)、小野明子(ヴァイオリン)、
菊池洋子(ピアノ)



©佐々木 卓男

1 滝千春 2 松田理奈 3 泉原隆志 4 磯絵里子 5 ソリスト4人と京都市交響楽団 スペシャル ストリングス
6 (左)越知晴子(中央)市原愛(右)木下美穂子 7 (左)小野明子(中央)菊池洋子(右)遠藤真理 8 出演者集合写真

初回となる今回は、2000～2009年度の間イタリア、オーストリア、スイス、ドイツ、ベルギーの音楽学校で奨学生として学ばれた10人が出演し、豪華なコンサートが実現しました。

第1部はA.ヴィヴァルディ作曲「四季」を4人のヴァイオリニストが交代で個性あふれる演奏を披露、第2部は2人のソプラノ歌手がG.プッチーニ作曲「蝶々夫人」など有名オペラのアリアを歌い最後に二重唱を披露しました。第3部では活躍する同世代の3人がF.メンデルスゾーン作曲「ピアノ三重奏曲 第1番」を息の合った演奏で初共演しました。

出演者からは「ロームから支援を受けていたと聞くと『あなたもローム組?』と親近感を持ちます。その共通点を持った方々とコンサートができてうれしかったです」などの感想をいただきました。



©佐々木 卓男

コンサート前日には、出演者とローム ミュージック ファンデーション及びローム関係者で懇親会を実施しました。

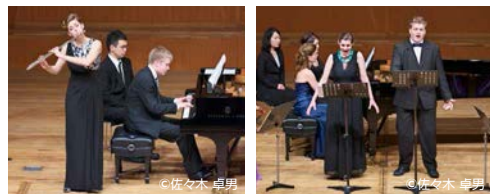
ローム ミュージック ファンデーションの事業(一部)

京都・国際音楽学生 フェスティバルの開催

音楽を通じた国際交流と若き音楽家の育成を目的として、毎年世界を代表する音楽学校から学生を京都に招き、フェスティバルを開催しており、これまでに約2,500人が出演しています。参加各校の混成メンバーにより、さまざまなジャンルの演奏を行い、最終日は管弦楽と合唱による演奏でフィナーレを締めくくります。このフェスティバルを通じて学生たちは日々の研鑽の成果を披露するだけでなく、演奏を通じて同世代の世界の音楽家の接点を持つことができ、学び成長する場となっています。



©佐々木 卓男



©佐々木 卓男

©佐々木 卓男

開催回数	開催期間	出演者数	開催場所
第1回～第22回	1993～2014 但し、2009は公演中止	海外 476人	京都府立府民ホール「アルティ」
		国内 2,010人	
	計 2,486人		

ローム ミュージック ファンデーション 音楽セミナーの開催

プロの音楽家の育成を目的としたセミナーを開催しています。世界的に活躍している音楽家を講師に迎え、明日の音楽界を担う多くの若い音楽家たちに有意義な機会を提供しています。1992年度より「弦楽器クラス」、1998年度からは「管楽器クラス」、2003年から2013年までは「指揮者クラス」を開催しました。過去の受講生は、各方面で活躍しています。



©佐々木 卓男



開催回数	開催期間	参加人数	開催クラス
第1回～第8回	1992～1996	154人	弦楽器(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ)
第9回～第13回	1998～2002	149人	管楽器(フルート、オーボエ、クラリネット、ホルン、ファゴット)
第14回～第23回	2003～2005、2007～2013	97人	指揮者
		計 400人	

「小澤征爾音楽塾」公演の共催

若い音楽家の育成を目的とした小澤征爾音楽塾公演を共催しています。小澤征爾音楽塾は、小澤征爾さんが自身の音楽経験を後進の若手音楽家に伝えることを目指し立ち上げた教育プロジェクトです。



©大塚 道治

©大塚 道治

音楽活動への助成

コンサートの開催支援や音楽分野における調査・研究に対する支援を行っています。これまでに音楽に関する公演1,657件、音楽に関する研究137件を助成しました。

情報調査の実施

音楽に関する資料の収集、調査、分析などを行っています。

「ローム クラシック サイエンス」シリーズ

クラシック音楽にまつわる不思議を科学的に解き明かした音楽情報を新聞や財団ホームページに掲載しています。

ローム ミュージック ファンデーション

SPLレコード復刻CD集、解説DVD

日本における西洋音楽との関わり、その作曲や演奏の歴史をSPLレコードから振り返る復刻CD集と解説DVDを発行し、図書館や音楽大学・音楽高校などの教育機関他へ寄贈しています。

「ローム株式会社 音楽文化支援」

ローム株式会社は、長年にわたってさまざまな社会貢献活動を行っています。音楽を通じた文化支援(メセナ)はローム ミュージック ファンデーションの活動ともあわせ、継続的に活動を実施しています。

京都市交響楽団 演奏会への支援 他

ロームが本社を置く京都のオーケストラ、京都市交響楽団の演奏会の協賛など、さまざまな活動を支援しています。



写真提供:京都市交響楽団

ロームシアター京都

2016年1月10日 OPEN

ロームは長年にわたり音楽芸術を支援してまいりました。50年間京都市民の皆様へ愛されてきた「京都会館」が再整備されるにあたり、京都市に本社を置くロームは、その新しいコンセプトに共感し、今後50年間のネーミングライツの形でお手伝いさせていただくことになりました。「ロームシアター京都」が日本を代表する文化の殿堂として広く愛されることを願っています。

2013年7月4日 ネーミングライツ名称の発表



(左)京都市長 門川大作さん
(右)ローム株式会社 代表取締役社長 澤村諭

2014年9月11日 オープニング事業の発表



(左)京都市長 門川大作さん
(中央)オープニング事業検討委員会 委員長 小澤征爾さん
(右)オープニング事業検討委員会 副委員長 長尾真さん
写真提供:公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

ロームシアター京都 が位置する岡崎地域について

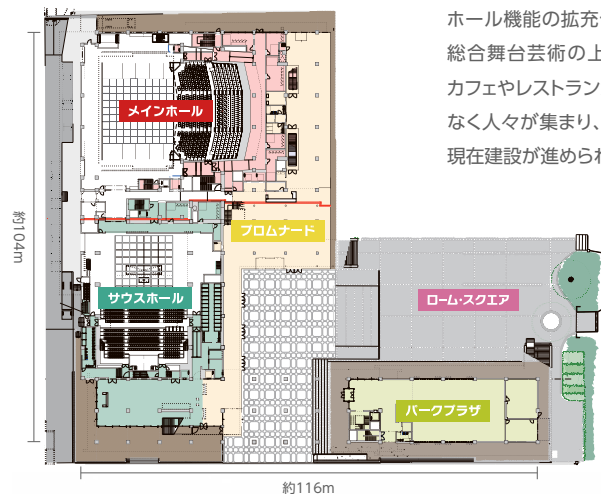


ロームシアター京都

京都市左京区岡崎最勝寺町13番地
平安神宮や美術館等が集まる岡崎地域の中心に位置し、今後多くの方々の憩いの場となることが期待されます。

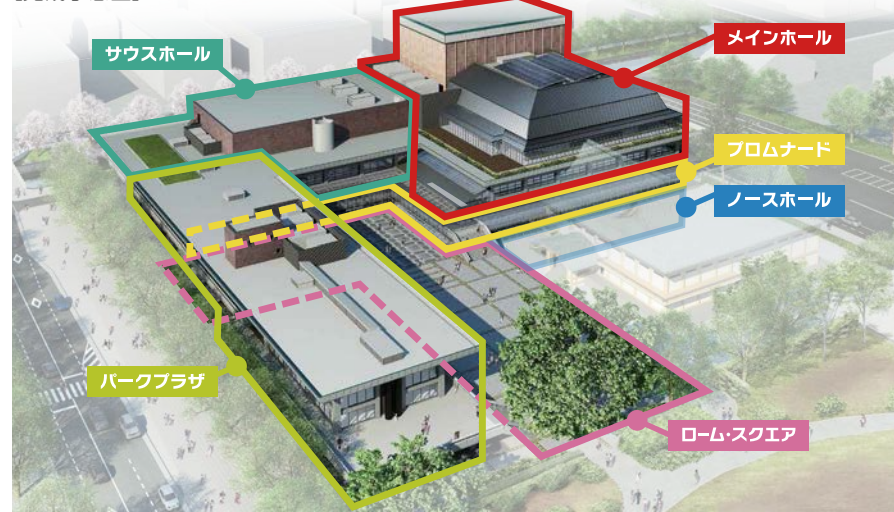
ロームシアター京都 施設情報

[1階平面図]



ホール機能の拡充や音響性能面の向上により、世界的な総合舞台芸術の上演が可能となります。また、ブック&カフェやレストランが併設され、文化芸術の発信だけでなく人々が集まり、交流する場となるようなコンセプトで現在建設が進められています。

[完成予想図]



メインホール
2,005席を有する世界的なオペラ、バレエ等の総合舞台芸術の公演やコンサートが可能な多目的ホール

パークプラザ
レストラン、カフェなどの施設がある多くの市民や観光客の新たな憩いの場

サウスホール
演劇一般及びコンサート、各種式典等に使用する716席の多目的ホール

プロムナード
チケットセンターなどのインフォメーション施設を持つ、冷泉通から二条通まで通り抜けができるパブリックな通路

ノースホール
リハーサル室としての機能に加え、収容人数200席を基本とする小規模の演劇やコンサートが可能なホール

ローム・スクエア
野外のイベント空間、隣接する岡崎公園と一体となった憩いの場



2016.1.10 OPEN
ロームシアター京都
ROHM Theatre Kyoto

ローム ミュージック フレンズ No.1
—ローム ミュージック ファンデーションの音楽文化支援情報誌—

発行 2015年3月30日

企画・発行：公益財団法人 ロームミュージックファンデーション
〒615-0044 京都市右京区西院西中水町1
TEL(075)311-7710 FAX(075)311-0089
<http://www.rohm.co.jp/rmf>

協 賛：ローム株式会社

この情報誌に掲載の写真・文章の無断転載を禁じます。

2016.02.5K

